



# Me410A-1 I./KG51 Edelweiß

メッサーシュミット Me410A-1  
I./KG51 エーデルヴァイス

1:72 FP12

BY KITS LAB  
**FineMolds**

Me410A-1について(1)

(解説 国江隆夫)

メッサーシュミット博士の名を墜としたMe210は、駆逐機のBf110の後継機として数々の新機軸を採用して開発されたが、飛行中の安定が悪いことが試作の段階からの致命的な問題で、胴体後部を延長して対処され、ハンガリー製のMe210Caなどが東部戦線で使用された。

さらに、エンジンをDB601から大型のDB603Aに換装し、新型翼をつけたMe210Aの1機が、Me410V1 (W.Nr. 028)として1942年秋に初飛行した、というのが一般的にはMe410の最初の原型機と考えられている。

最初の量産型であるA-1は「高速爆撃機」(Schnellbomber)と呼ばれたコンセプトの機体で、機首爆弾倉に各種装備をオプション装備することにより、A-1/U1は偵察型、A-1/U2はMG151/20(2門)バック搭載の駆逐機型といわれ、また公式には、A-1/U4がBK5(BK=Bordkanone 50mm砲)を搭載した戦闘爆撃機型であったことが確認されている。

A-1の機首下面の爆弾倉には、500kg爆弾2発を地上で特別な爆弾架につけた後に滑車とワイヤを利用して取り付けられ、左右に回転するように開く「クラムシェルドア」と呼ばれる扉がそこを被っている。また、公式には、外部兵装として主翼下面付け値に縦に2つ、50kg爆弾用のETC50系の爆弾架が左右に計4つ取り付け可能であるとされている。

日本ではようやくJu88が急降下爆撃できることが認識されてきたが、標準的なドイツの双発爆撃機は水平爆撃と同時に急降下爆撃が要求されており、Me410は急降下爆撃が前提である。従ってMe410はそのためのダイブブレーキを外翼のラジエーター直前の翼上面と下面に装備しており、従来はそれがあまり知られていなかった。このダイブブレーキはMe210から受け継がれた特徴的なもので、主桁に沿った横方向にスイングして出る折り畳み式のスノコ状ダイブブレーキである。

また、前下方視界用窓とJu87同様の爆撃目標確認窓を兼ねたものが機首に縦についており、このためコクピット内もパイロットの脚の間がガラス張りとなり、シートにも脚用パッドがついている。一番下の窓は爆弾倉が開くと同時に下側を支点として内部に開くが、これはJu88と同様に急降下時の急激な高度変化に対応するシステムの一つである。

機首に武装を集中させているが、無線手兼銃手よって操作される独特のリモコン式動力砲塔も装備している。射撃及び爆撃用の照準器には標準的な反射式照準器である「Revi C12」系か「Revi16」系をつけているが、「Stuvi 5B」や望遠鏡式の「ZFR4A」なども使用された。

## ■諸元

全長 12.48m(12.56m) 全幅 16.355m(16.362m)

全高 4.278m(地上姿勢でアンテナ支柱を含む)

水平尾翼幅 5.80m

(マニュアルによる数値、()内は公式図面による数値)

エンジン ダイムラー・ベンツ DB603A×2基 液冷倒立12気筒  
加圧冷却方式 出力 1750hp(離昇) 排気量 44.5リットル 全開  
高度5700m 速度 615km/h(高度5700mにおける推定) 爆弾搭載  
量 最大 1000kg

武装 機首 MG17(口径7.9mm)×2、MG151/20(口径20mm)×2  
後部 FDSL-BL131リモコン銃座(MG131 口径13mm×2)  
無線装備 FuG10、FuG16、FuG25a(敵味方識別装置)  
FuBI系(盲目着陸装置)、PeilGV(方向探知装置)

Me410A-1(1)

(Text: Takao Kunie)

The Me210 was designed as the successor to the Bf110, but while still in the development stages, serious problems in its stability became apparent. Many modifications to remedy this were made, including a longer fuselage. Such modified aircraft, known as the Me210Ca, were built in Hungary and used on the Eastern Front.

In addition, one Me210A had a newly-designed wing installed, as well as having its DB601 engines replaced by the larger DB603A. This aircraft (Me410V1; W.Nr.028) is generally considered to be the first prototype of the Me410.

The first production model was the A-1, based on the concept of the *Schnellbomber* (fast bomber). Through the fitting of option packs, the A-1 could be the A-1/U1 recon. version, the A-1/U2 *Zerstörer* (destroyer), armed with two MG151/20s firing forward, or even the A-1/U4, armed with a 50mm Bordkanone for bringing down heavy Allied bombers. Other configurations also existed.

The Me410 could stow two 500kg bombs in its nose bomb bay, which was covered in flight by clam-shell bay doors. In addition, the aircraft could carry up to four 50kg bombs on ETC50 racks mounted on the underside of the wing roots. Designed primarily for dive bombing, the Me410 was fitted with "Venetian blind"-style dive brakes above and below the outer wings, as was the Me210.

In addition, the Me410 had a plexiglass panel low in the nose to allow the pilot to see his target during a dive. The ground became visible between the pilot's legs when the bomb bay doors were opened.

Armament was concentrated in the nose, but the plane also boasted a new-concept, rear-firing, remote-control MG unit which was controlled by the rear-seat observer, who faced backwards. For both bombing and gunnery, the aircraft employed the standard "Revi C12" or "Revi 16" reflecting gunsight. Some later models had the gyro-computing "Stuvi 5B" for dive-bombing or the telescopic-reflecting "ZFR4A."

## DATA

### Dimensions

Length: 12.48m (12.56m); Wingspan: 16.355m (16.362m); Height: 4.278m (on the ground, including antenna mast); Horizontal stabilizer span: 5.80m. (First dimensions are taken from the aircraft's manual; measurements in parentheses are from published technical illustrations).

### Engines

Daimler-Benz DB603A×2 (inverted V-12, liquid-cooled inline engines, 1,750hp takeoff power); Displacement: 44.5 liters; Ceiling: 5,700m.

### Performance

Maximum speed: 615km/h (estimated at 5,700m); Payload: 1,000kg bombs in bomb bay

### Armament

Nose: 7.7mm MG17×2, 20mm MG151/20×2; Rear fuselage: FDSL-B131 remote-control gun unit (13mm MG131×2).

### Radio Equipment

FuG10, FuG16, FuG25a (IFF), FuBI types (ILS), PeilGV (ADF).

**作る前にお読みください**

- このキットには接着剤が入っていません。別にお買い求めください。接着剤はプラモデル用(一般的なピン入りタイプ)をお勧めします。胴体や主翼など広い部分や透明パーツの接着には「溶剤タイプ」(サラサラした流し込みタイプ)の接着剤が向いています。お買い求めのお店でおたずねください。
- 各部の塗装はグンゼ産業のMr. カラーの番号と色名で指示しています。

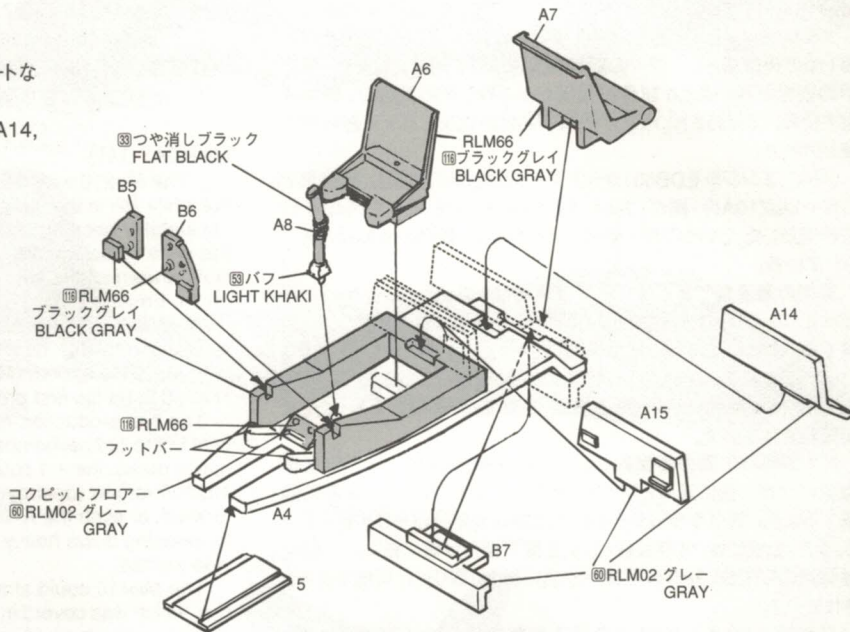
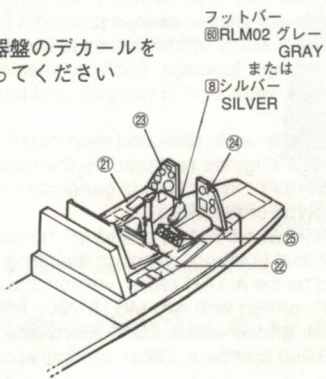
- 組み立ては説明書をよく読んで間違いの無いようにしましょう。
- 巻末の注意もお読みください。
- このキットは爆弾倉の開状態と閉状態を選んで作ることができますが、いずれの場合もパーツの小加工が必要になります。あらかじめどちらにするか決め、塗装前に図中(9)の項を見てパーツの加工を済ませておいてください。
- Boxed numbers refer to Gunze Sangyo's "Mr.Color" paint color numbers.

**①コックピットの組み立て**

最初にA14、A15、B7を取り付けてからシートなどを取り付けます。

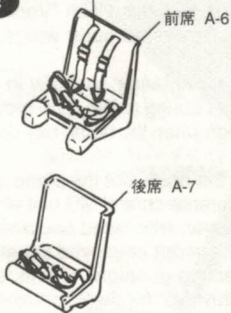
Attach the seat after attaching parts A14, A15 and B7.

計器盤のデカールを貼ってください

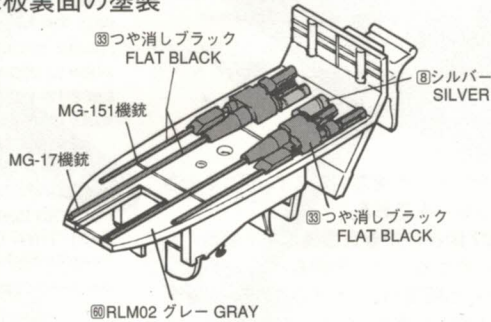


1/72 AA-4 GERMAN AIRCRAFT SEAT BELTS SET

**参考**



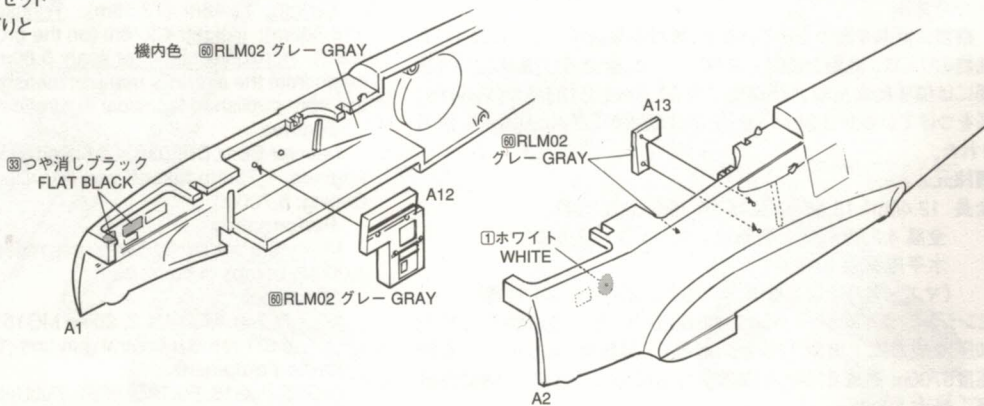
**◎床板裏面の塗装**



弊社より発売のファインディティールアクセサリシリーズAA-4ドイツ空軍機用シートベルトセット2を使えばより精密な仕上がりとなります。

**NOTE**

You can improve the appearance of your kit by using Fine Molds "German seatbelt set 2", item AA-4 in the Fine Molds accessories series.

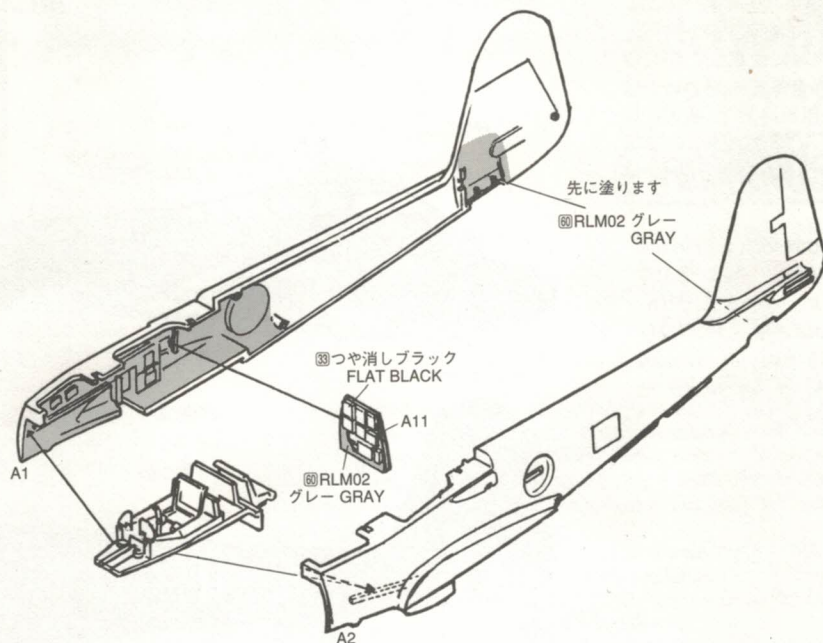
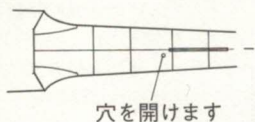


AA-4 Seat belts set not included

## ② 胴体の組み立て

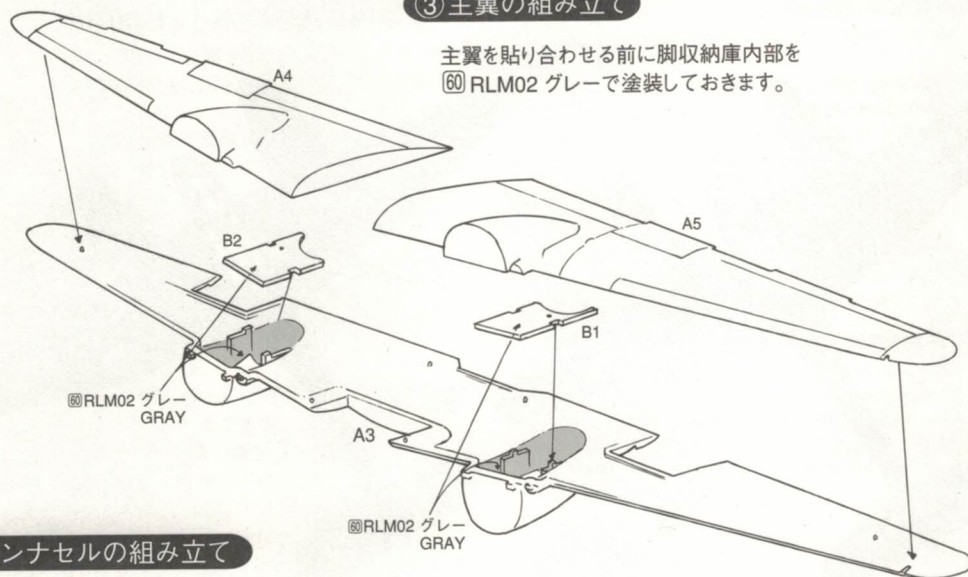
胴体を貼り合わせた後でトレーリングアンテナ取り付け用の穴を0.7~0.8ミリのドリルで開けます。アンテナはこの後⑩の工程で取り付けます。

Open a 0.7mm to 0.8mm hole for the trailing antenna after assembling the fuselage halves. The antenna is attached in step ⑩



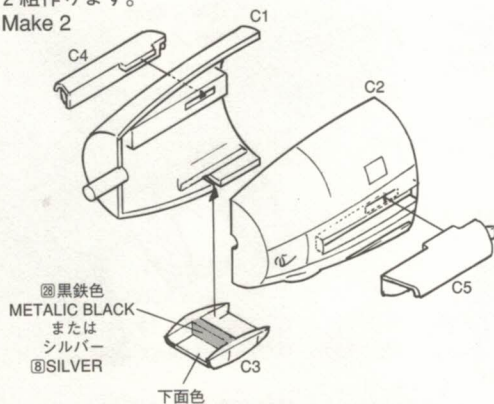
## ③ 主翼の組み立て

主翼を貼り合わせる前に脚収納庫内部を㊸ RLM02 グレーで塗装しておきます。



## ④ エンジンナセルの組み立て

2組作ります。  
Make 2



### ○排気管の塗装

C5 (C4) 機体色 Nacelle Color



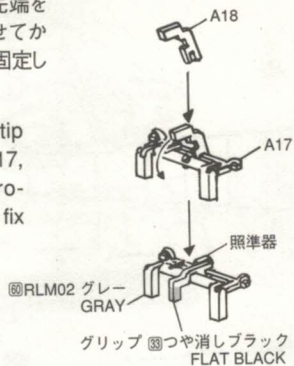
㊸つや消しブラックを塗った後に㊸レッドブラウンでドライブラシすると雰囲気良く仕上がります。

After painting the pipes ㊸ Flat Black, drybrush them with ㊸ Red Brown for a realistic effect.

### ⑤ 照準器とリモコン銃塔の組み立て

まずA18の先端をA17に合わせてから90°回して固定します。

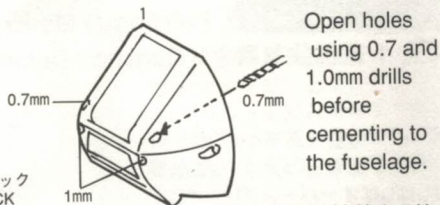
Attach the tip of A18 to A17, and then rotate it 90° to fix it in place.



・リモコン銃塔



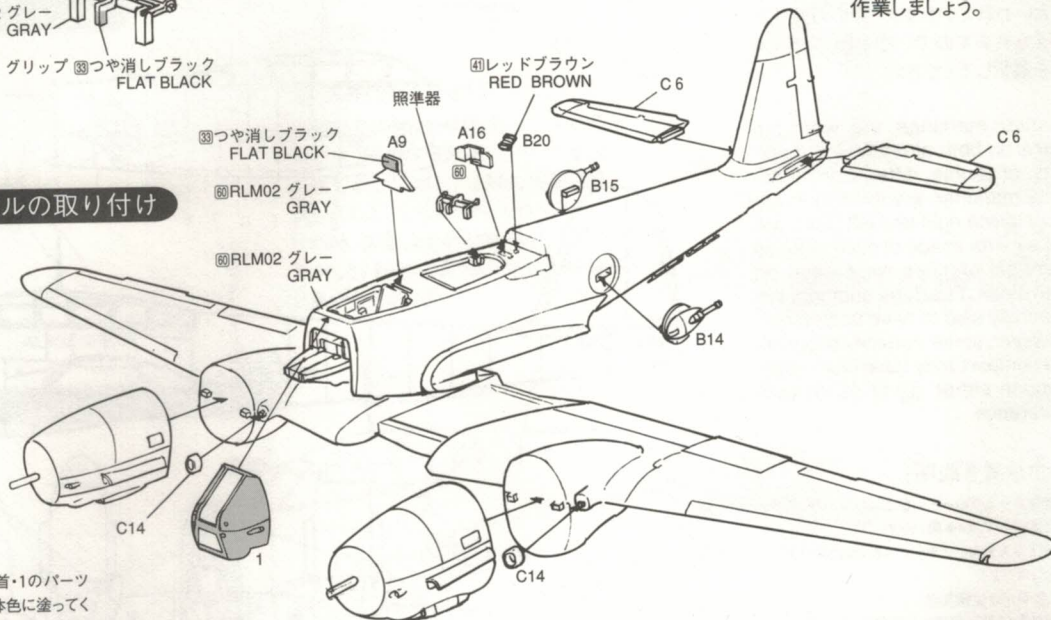
左右がありますので注意してください。



Open holes using 0.7 and 1.0mm drills before cementing to the fuselage.

胴体に接着する前に0.7ミリと1ミリのドリルで穴を開けます。透明パーツはヒビが入りやすいので慎重に作業しましょう。

### ⑥ 主翼・ナセルの取り付け



機体塗装の際に、機首・1の部分は ■ の部分を機体色に塗ってください。下塗りに RLM02 グレーを塗ると良いでしょう。

### ・主翼の取り付けについて

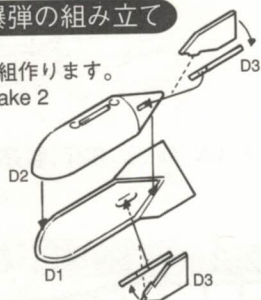
実機では、主翼のフィレットは主翼を覆う様に取り付けられているため、フィレットと主翼面には段差があります。キットでもこの段差を再現していますが、主翼を接着した後で胴体パーツと主翼パーツの接着面に溶きパテを筆で流しこみ、乾燥後に Mr. カラーのシンナー(ラッカーシンナーはダメ)で拭き取るようにすれば、段差や周囲のモールドを削らずにこれを生かした仕上がりにすることが出来ます。

### ・ナセルの取り付けについて

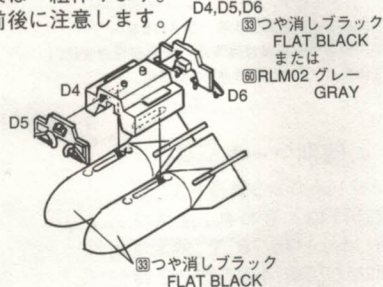
キットで主翼とナセルを取り付けるラインは、実機では意外と大きな段差がついていますが、これは外板が入り込むように重なっているためです。Me410に限らずドイツ機のエンジンナセル周りのたてつけは意外と悪いものですから、実機写真を参考にそれらを再現してみれば、より雰囲気のある仕上がりになるでしょう。

### ⑦ SC250爆弾の組み立て

2組作ります。  
Make 2

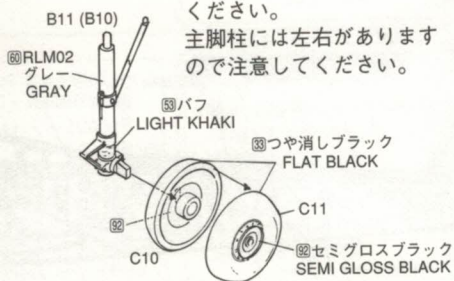


※爆弾架は一組作ります。D4の前後に注意します。



### ⑧ 主脚の組み立て

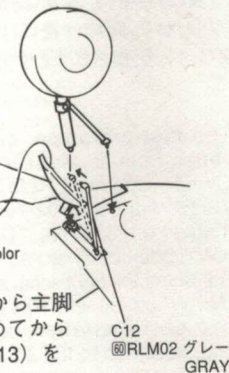
※タイヤ・主脚の取り付け角度は次頁の図を参照してください。主脚柱には左右がありますので注意してください。



Attach part C12 and then attach the gear to the wing. Once the angle is set, attach the gear bay covers (B12 & B13).

脚カバー裏 RLM02 グレー GRAY または 下面色 Under fuselage color

C12を取り付けてから主脚を付け、角度を決めてから脚カバー (B12、B13) を取り付けます。




⑨爆弾倉扉の加工と取り付け

開閉どちらかを選んで組み立てます。  
いずれの場合もパーツの小加工が必要ですので機  
体外面の塗装をする前に加工してください。

The bomb bay doors can be assembled open or  
closed, though each requires slight modification  
of parts. Make the modifications before painting  
the parts.

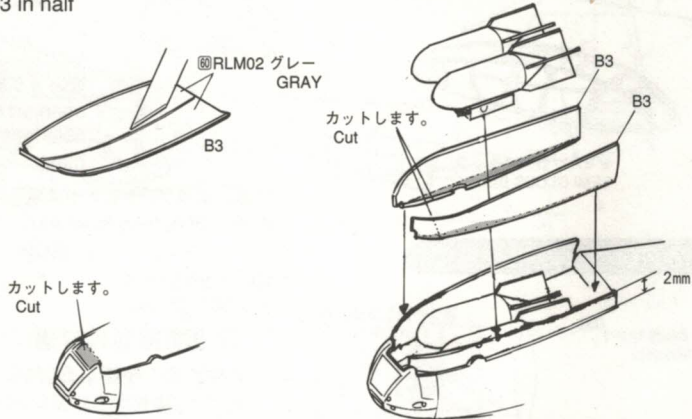
※加工について

爆弾倉扉は実機の寸法に即してモデル化してい  
ますが、パーツの肉厚が成形の都合上厚くなり、扉を  
開けると一部が爆弾と干渉します。そのままでも組め  
ますが、より正確な仕上がりを望まれる方は、爆弾倉  
扉の  の部分をカットしてください。カットする際は  
先に爆弾を爆弾倉内に取り付け、扉パーツを合わせ  
て様子を見ながら少しずつカットしてください。

◎開状態の場合 Open position

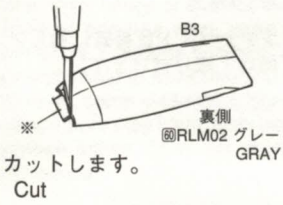
B3を2つに切り離します。  
Cut B3 in half

爆弾架の取り付け位置は下図  
を参照してください。

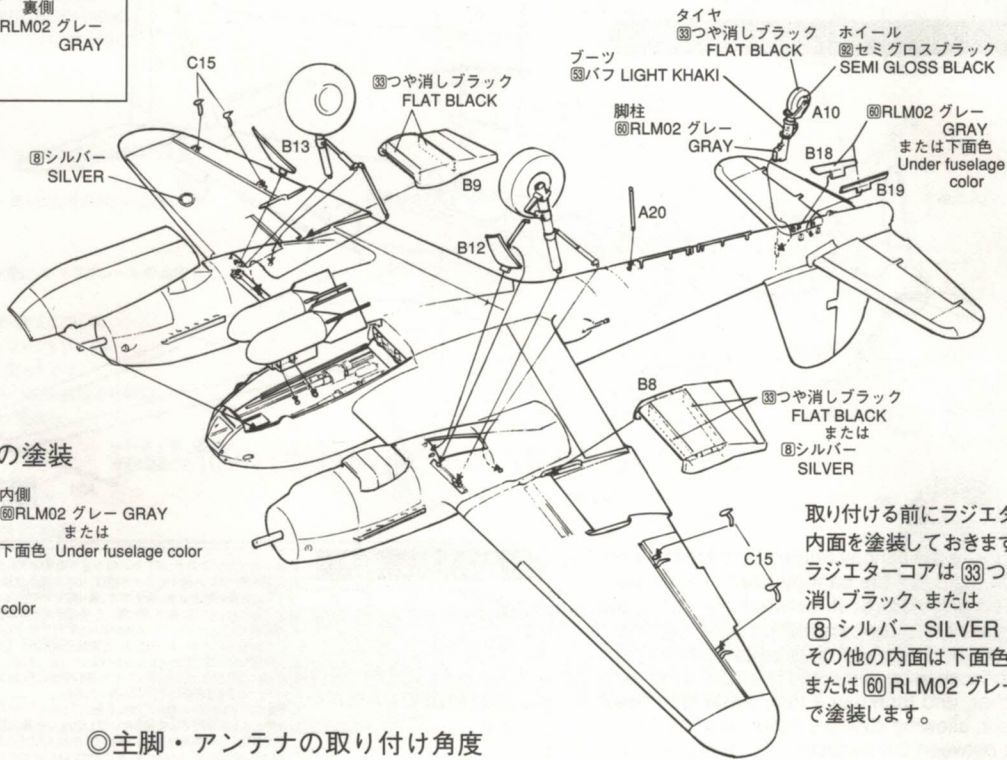


扉は上端が爆弾倉内に入る  
かたちで開きます。

◎閉状態の場合  
Closed position






⑩ラジエター・尾輪などの取り付け



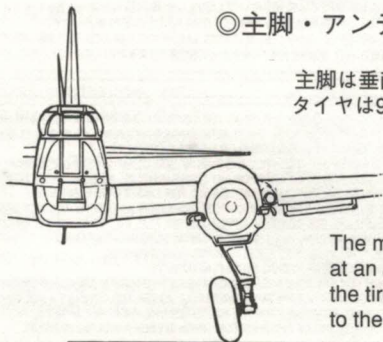
◎主脚カバーの塗装



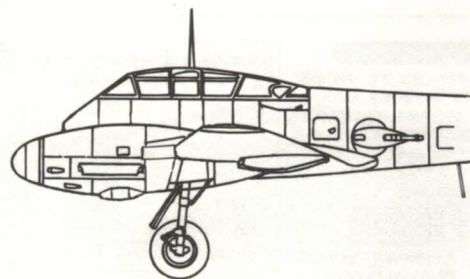
取り付ける前にラジエター  
内面を塗装しておきます。  
ラジエターコアは  つや  
消しブラック、または  
 シルバー SILVER  
その他の内面は下面色  
または  RLM02 グレー  
で塗装します。

◎主脚・アンテナの取り付け角度

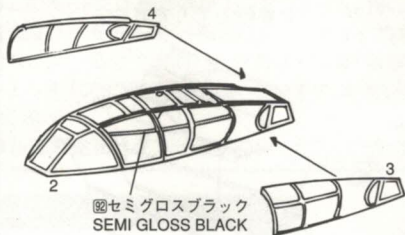
主脚は垂直に対して4.5°、  
タイヤは9.5° 傾いています。



The main gear are attached  
at an angle of 4.5°, while  
the tires should be at 9.5°  
to the vertical.



⑪ キャンピの組み立て



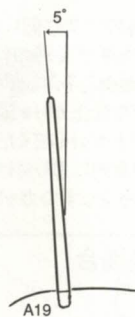
⑧セミグロスブラック  
SEMI GLOSS BLACK



※接着面を黒で塗ります  
※  
※  
Use a 0.8mm drill to open an attachment hole for the antenna mast.  
接着面にあるゲートをナイフ等で処理し、裏側から0.8~0.9ミリのドリルでアンテナマスト取り付け用の穴を開けます。

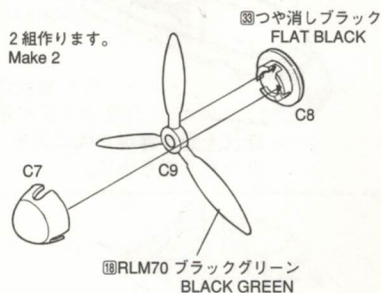
実機のキャンピーフレームの一部はキャンピの内側から取り付けられています。キャンピとフレームの間に黒のブッシュを挟みボルトで固定されているので、黒で塗装すると良いでしょう。別頁の塗装図も参照してください。

◎アンテナマストの取り付け角度



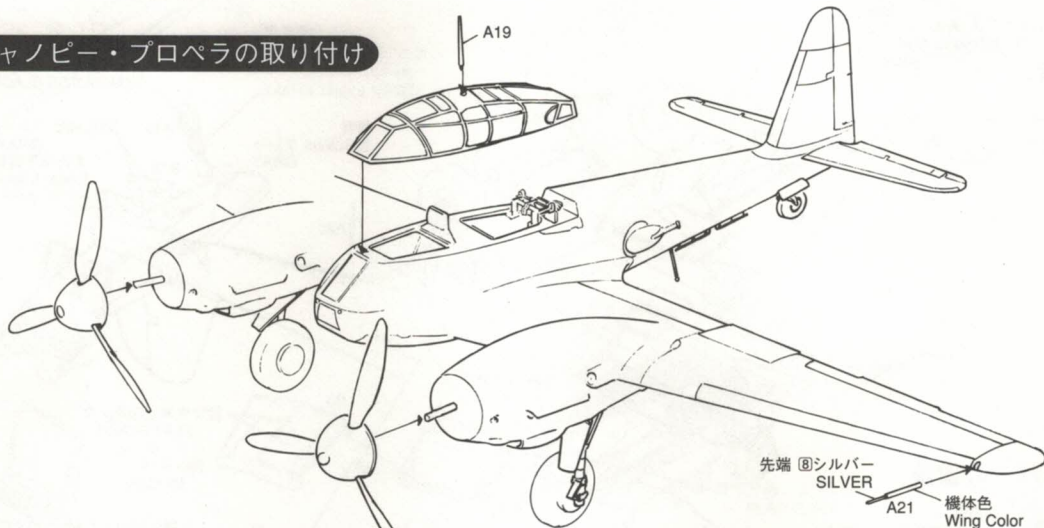
アンテナマストは垂直に対して5°傾けて取り付けます。

⑫ プロペラの組み立て



◎透明部品の接着について  
透明部品の接着には溶剤タイプが便利です。接着する位置にパーツを合わせておいてからすき間に接着剤を流し込むと、きれいに仕上がります。この時、接着面をあらかじめ黒で塗っておくとパーツの断面が目立たず、より良く仕上がります。

⑬ キャンピ・プロペラの取り付け



Portions of the canopy frame of the Me410 were on the inside of the canopy itself. These were padded with black bush and should be painted black for best appearance. To cement clear parts together, paint the surfaces to be cemented black, hold the parts together, and then use a thin, water-type weld cement, allowing capillary action to draw the cement between the surfaces. This technique produces the best results.

▲ 注意

\*組み立てる前に必ずお読みください。  
\*12才以下の方が組み立てる時は保護者もお読みください。

1. 組み立てモデルです。作る前に組み立て説明書をお読みください。
2. 部品を取り出した後のビニール袋は、小さなお子様が頭から被ったり、飲み込んだりすると窒息の恐れがありますので、破り捨ててください。
3. 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズはゴミ箱に捨ててください。
4. 部品はやむなぐがっている所がありますので使用目的以外は、絶対に遊ばないでください。特に小さいお子様のいる家庭では注意してください。
5. 小さな部品がありますので、誤って飲み込まない様にご注意ください。特に小さいお子様のいる家庭では注意してください。
6. 部品組み立ての際、ニッパー、ナイフ、ヤスリ等を不用意に取り扱うと、刃先で怪我の恐れがあります。12才以下の方は保護者の指導のもとに取り扱ってください。
7. 接着剤、塗料を使用する場合は、下記に注意してください。  
\*閉めきった室内では使用しないでください。中毒の恐れがあります。  
\*火の近くでの使用は絶対にやめてください。引火の恐れがあります。  
\*接着剤、塗料は目や口に入れないでください。誤って目や口に入れたときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。
8. 工具、接着剤、塗料、電池等を使用する場合は、その説明書の注意事項をよく読んで正しく使用してください。

▲ CAUTION

\* MAKE SURE TO READ INSTRUCTIONS LISTED BELOW BEFORE ASSEMBLING.  
\* ADULT SUPERVISOR SHOULD ALSO READ INSTRUCTIONS WHEN ASSEMBLED BY CHILDREN AGED 12 OR YOUNGER

1. THIS BEING AN ASSEMBLY KIT, READ THE INSTRUCTIONS BEFORE ASSEMBLING.
2. TEAR UP AND THROW AWAY THE PLASTIC BAGS CONTAINING KIT PARTS AS CHILDREN MAY SUFFOCATE BY SWALLOWING OR WEARING OVER HEAD.
3. CUT THE PARTS OFF PROPERLY AND THROW WASTE PARTS INTO DUSTBOX AT ONCE.
4. DO NOT PLAY WITH THE PARTS FOR ANY OTHER PURPOSE AS SOME PARTS MAY BE TOO SHARP. MORE CAUTION AND CARE NEEDED FOR FAMILIES WITH INFANTS.
5. DO NOT SWALLOW ANY PARTS AND CUT-OFF CHIPS. KEEP AWAY FROM REACH OF CHILDREN.
6. WRONG OR CARELESS USAGE OF NIPPER, CUTTER, FILE, ETC. MAY HURT THE ASSEMBLER.
7. BE CAUTIONS AS FOLLOWS WHEN USING ADHESIVES AND/OR PAINTS:  
-DO NOT USE IN CLOSED ROOM TO AVOID POISONING/TOXIC.  
-DO NOT USE NEAR FIRE TO AVOID FLAMMABILITY.  
-DO NOT PUT ANY ADHESIVES AND/OR PAINTS INTO MOUTH AND EYE IF MISTAKENLY PUT INTO. WASH OUT PROMPTLY WITH FULL WATER AND CONSULT A DOCTOR.
8. USE TOOLING, ADHESIVES, PAINTS, BATTERIES ETC, PROPERLY AFTER CAREFUL READING OF INSTRUCTIONS GIVEN IN EACH HANDLING MANUAL.

アフターサービスについて

部品を請求される方は、氏名、住所、電話番号を1字ずつはつきり書き、右のカードの必要部品を○で囲み、代金を現金書留または定額為替にて、当社アフターサービス係までお申し込みください。なお、価格は予告なく変更することがございますので、ご了承ください。

Me410A-1 エーデルヴァイス

- A . . . . . 1700 円
  - B . . . . . 1000 円
  - C . . . . . 1000 円(1枚)
  - D . . . . . 300 円
  - 透明部品 . . . . . 400 円
  - 国籍マーク . . . . . 800 円
  - 部隊マーク . . . . . 600 円
- For Japanese only FP-12



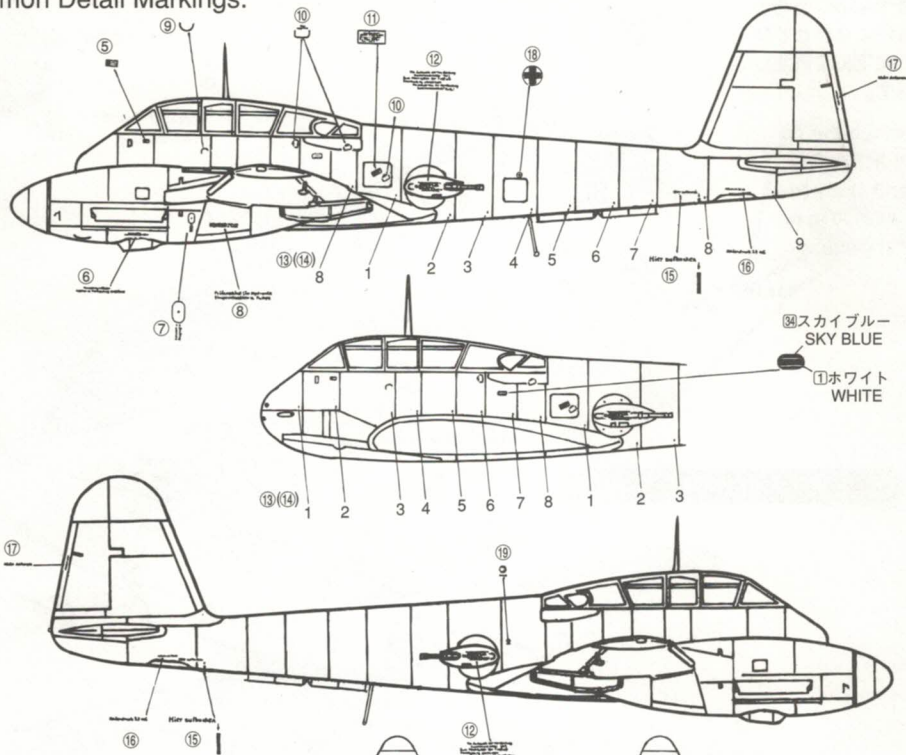
〒441-33 豊橋市老津町字の場53-2  
☎(0532)23-6810

# 塗装とマーキング Painting & Marking

## <共通：細部注意書き> Common Detail Markings.

細部のデカールを基本として個別のマーキングを貼ってください。注意書きはしばしばオーバープレーされて塗りつぶされている事があります。エンジンナセルの注意書きは左右同じ方向の位置に貼ってください。これは左右同じエンジンを使っているためです。また、胴体枠ナンバーは一般的に黒といわれていますが、赤の可能性も考えられますので、(13)と(14)のどちらかを選択してください。

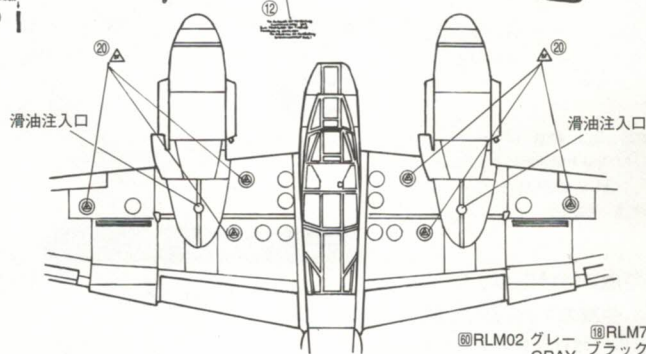
Caution markings, etc. were the same on both aircraft. Unit markings, of course, differ. Engine nacelle markings are located in the same place right and left. They are not a mirror image of each other as identical engines were used on both sides. Fuselage numbers are generally said to have been black. However, some evidence suggests red numbers may have been used. Choose either (13) or (14) at your preference.



- ⑬ スカイブルー SKY BLUE
- ⑭ ホワイト WHITE

### [注意書き説明]

- ⑤ 機体ネームプレート ⑥ エンジンカウル開閉時の注意
- ⑦ 冷寒時のスタート用ハッチ
- ⑧ 油圧システムとプライマー系(始動用燃料)の接続テスト用コネクター
- ⑨・⑩ 手がけ位置表示
- ⑪ 離陸前に水平尾翼を0位置に、ダイブブレーキの油圧セレクターをONにする
- ⑫ 後部胴体銃塔カバーの取り替えについて
- ⑬・⑭ 胴体枠ナンバー ⑮ ジャッキポイント
- ⑯ 尾輪タイヤ空気圧表示 ⑰ さわるな
- ⑱ 緊急装備品搭載位置表示 ⑲ 外部電源接続口
- ⑳ 燃料注入口およびオクタン価表示



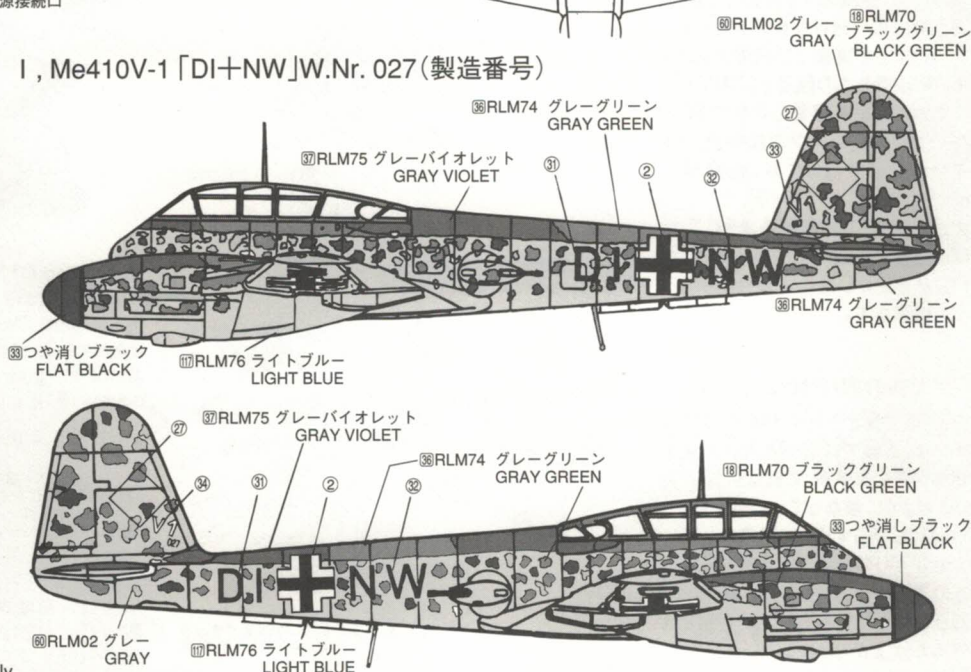
## I, Me410V-1 「DI+NW」W.Nr. 027(製造番号)

### <個別マーキング>

Me210A-0 から転換された原型1号機と言われ、全体は RLM 74/75/76 で、側面は RLM 02/70/74 のモットルと推測。「DI+NW」は主翼下面の右翼に「D+I」、左翼に「N+W」とつく。同機は後に III / ZG.1 に配属されたといわれる。

The first prototype, converted from an Me210A-0. Overall scheme is RLM 74/75/76, with RLM 02/70/74 mottles on side. the "DI+NW" code is marked as "D+I" under the right wing, and "N+W" on the left. This aircraft is believed to have been later assigned to III / ZG.1

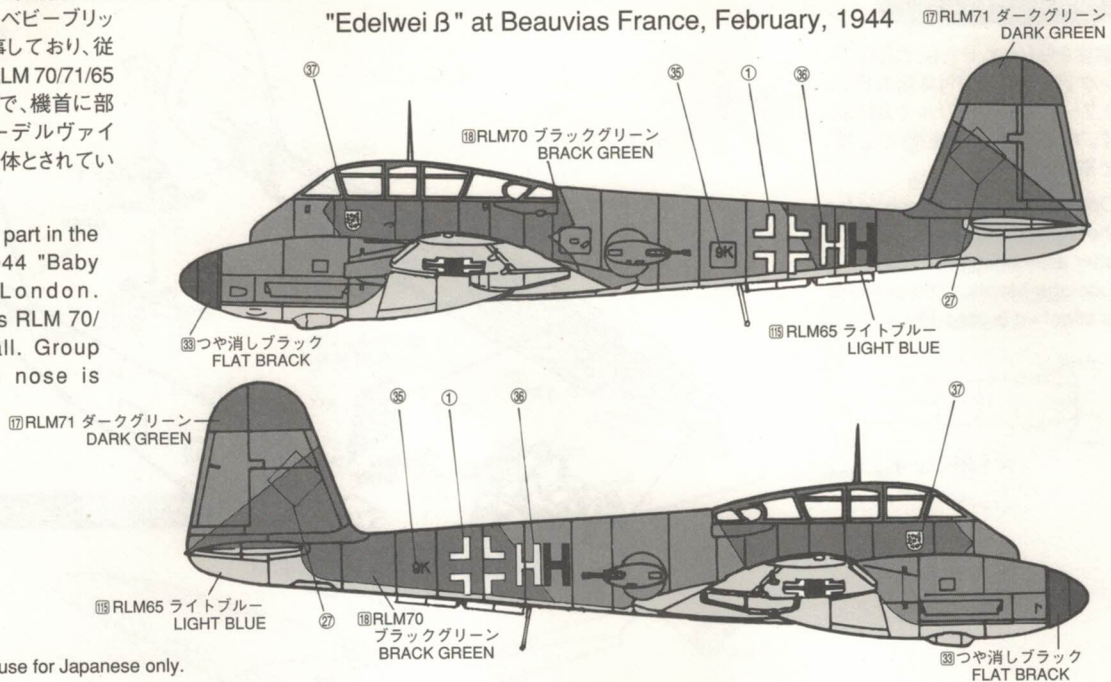
※ ㉗ Mark is use for Japanese only.



同部隊は、1944年2月にロンドンに対する「ベビーブリッツ」作戦に従事しており、従来から全体がRLM 70/71/65の緑色系迷彩で、機首に部隊マーク「エーデルヴァイス」をつけた機体とされている。

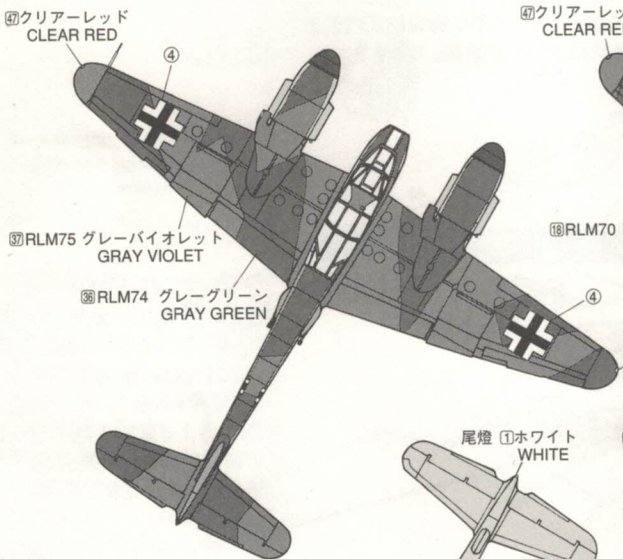
This unit took part in the February 1944 "Baby Blitz" of London. Camouflage is RLM 70/71/65 overall. Group marking on nose is "Edelweiβ"

II. Me410A-1 I./KG51 (第51爆撃航空団 第1グループ所属) 1944年、フランス  
"Edelweiβ" at Beauvias France, February, 1944

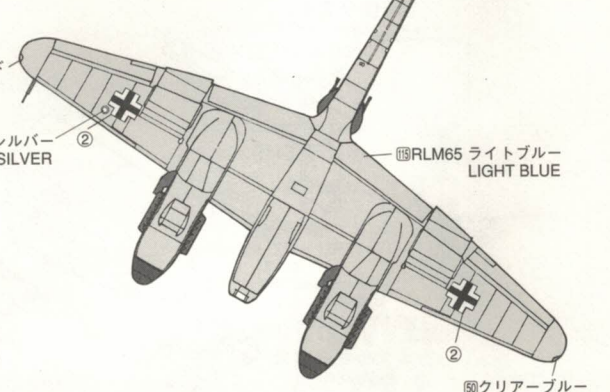
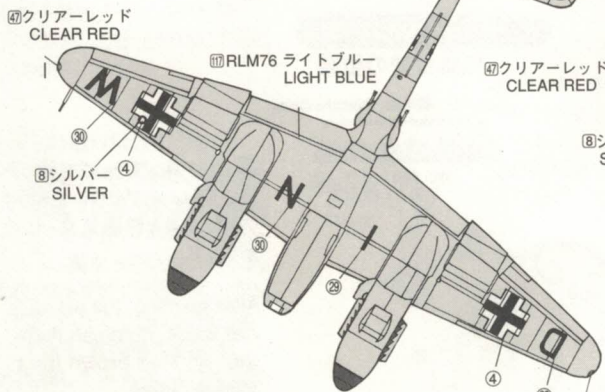
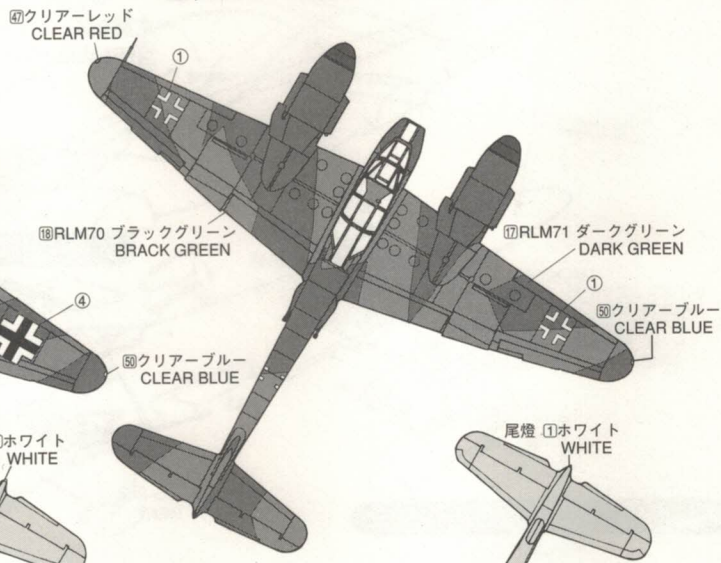


※ ⑦ Mark is use for Japanese only.

塗装例 I . Me410V-1 (W.Nr. 027)



塗装例 II . Me410A-1 I./KG51



Me410V-1 (W.Nr. 027)

Me410A-1 I./KG51